



伊藤ひろし県議会報告

発行 伊藤ひろし千葉県議会議員事務所

〒275-0026 習志野市谷津2-1-15 電話047(779)3385



習志野市と千葉県の架け橋

災害対応
救急搬送

ヘリコプター活用の強化を

(その他、一般質問項目・要望事項)

1【上水道】

医療・消防施設への管路の耐震化

千葉県総合救急災害医療センター、
消防共同指令センター

2【下水道】

花見川第二終末処理場の停電対策

72時間継続稼働に向けた非常用
自家発電設備の整備

3【道路】

無電柱化

県道津田沼停車場線(ワイガヤ通り
600m)の工事進捗

4【教育】

県立高等学校のICT教育

動画通信速度の高速化など、
校内ネットワーク環境の整備



▲12月定例県議会で一般質問を行う
(私のホームページに録画中継があります)

臨時離発着場 適地の拡充を 道の駅・大型商業施設の駐車場、物流拠点などを候補地へ

“市民の命を守るまちづくり”を活動方針とする私伊藤ひろしは、主に「災害対応」の強化に向けて、県議会本会議で登壇し「ヘリコプター」の有効活用、総合救急災害医療センター(千葉市美浜区豊砂)や習志野市域を管

轄する119番消防救急指令センター(松戸市)の「水道管路の耐震化」など、習志野市民が生活利用する公共施設の災害の備えについて質問しました。その他の質問趣旨・要望を左記にご紹介させて頂きました。

●ヘリコプターによる迅速な対応 伊藤ひろし

大分県大分市において発生した大規模な火災においては、上空からのヘリコプターによる消火活動も行われたが、火災に限らず、ヘリコプターは災害時に様々な場面での活動が期待されます。

近年の災害対応においては、ヘリコプターによる救助・救急活動、さらには物資輸送や情報収集など、空からの支援は欠かせないものとなっております。さらに、災害時以外においても、急病患者の救急搬送など、日常的な緊急対応においてもヘリコプターは有効に活用されております。

これらの活動を支えるためには、しっかりと整備されたヘリポートなど、離発着のための場所が必要であり、常設のヘリポートを新たに整備することは、用地の確保や多額の経費負担といった課題があり、容易ではありません。そこで、平時からヘリポート以外でヘリコプターが緊急時に離発着できる場所を把握し、災害時に活用できるようなしておくことが重要と考えます。

候補地の拡充にあたっては、学校や公園に加え、大型商業施設の駐車場、物流拠点、運動場、公共施設の屋上など、民間施設も含めて幅広く検討すべきであります。災害時におけるヘリコプターの迅速な救急活動に向けて、県としては、ヘリコプター臨時離発着場適地を増やすべきと考えます。

熊谷知事

県ではヘリコプターが円滑に活動できるよう、緊急的に着陸が可能となる臨時離発着場の適地について、毎年度、県内市町

村に対してリスト化を依頼しており、その結果を消防、警察、自衛隊等の防災関係機関と共有しています。臨時離発着場として使用するためには、1辺が20m以上で、施設等の管理者との連絡体制の確保ができ、かつ離発着に支障をきたす障害物が周辺にないことなどが条件であり、令和7年1月1日現在、県内495箇所を適地としています。

要望

伊藤ひろし

県立学校などの

県有施設、県内29箇所ある「道の駅」などを含め、新たな適地の洗い出しに取り組んでいただくよう要望します。



▲災害時に威力を発揮するヘリコプター

119番通報受信 消防共同指令センター

～災害に強い司令管制業務に向けて～

水道管路耐震化

指令センター-消防署

最重要給水施設に追加を

県民の命に直結する消防・救急指令管制業務の継続性の強化を

「ちば北西部指令センター(習志野市も含め10市で共同運用・松戸市中央消防署に所在)管轄人口約250万人の119番受信・各市への消防・救急指令施設」

伊藤ひろし

千葉市と松戸市に設置されている消防共同指令センターは、県内の消防・救急活動を二括して担い、ここが機能を失えば、一瞬にして混乱し救えるはずの命が救えなくなります。

大規模災害はいつ発生するか分かりません。勤務する職員が飲料水やトイレなどの生活用水を確実に確保できる環境を整えることは、災害対応の継続性を守るための最低限の条件です。水道管路の耐震化が遅れば、消防指令センター機能そのものが停止し、県民の安全は直ちに危機にさらされます。しかし現状、県営水道において消防共同指



令センターは「最重要給水施設」に含まれておりません。病院や災害対策本部が設置される県庁、市役所が指定されていることは理解いたしますが、県民の命を守る防災拠点に消防の指令塔であるセンターが対象外



▲ちば北西部消防共同指令センター

司令管制業務のある警察本部は、「最重要給水施設」に位置付けられている県庁への管路耐震化整備と共に、自ずと耐震化されます。一方、119番通報「消防」指令管制業務の消防指令センターは、「最重要給水施設」に位置付けておらず、大規模発生時に指令センターの運用を危惧します。

松戸市にある消防共同指令センターを最重要給水施設に追加するべきと考えるがどうか。

企業局長 県営水道では、膨大な管路の更新や耐震化を進めていかなければなりません。このため、災害時の被害やその後の断水などの影響も考慮したうえで、特に液状化により大きな被害が想定される沿岸埋立地域の管路や、災害時において人命にかかわる災害拠点病院などの最重要給水施設に耐震化を進めることとしたところでございます。

要望

伊藤ひろし

千葉市の中央消防署に所在する「ちば消防共同指令センター」については、最重要給水施設に位置付けられている県庁との距離が数十メートルと近いので、県庁につながる管路と併せて耐震化を図るなど、柔軟に対応するよう要望します。さらに、松戸市の中央消防署に所在する「ちば北西部消防指令センター」は、最重要給水施設に位置付けられている松戸市役所から、約1400メートルの距離にあり、同じく柔軟に対応するよう要望します。

習志野市内の県政に関する質疑も伺う



①【県立高校】産業イノベーション人材育成校創設



②【県産水産物】台湾輸出



③【外国人観光誘客】ゴルフツーリズム



④【SDGs】ちばパートナー登録制度



⑤【脱炭素】車両への水素エネルギー



⑥【水道】非常用自家発電設備



⑦【河川】高瀬川の水門整備



⑧【道路】(1)東習志野実籾線の4車線化 (2)長沼船橋線の歩道安全



予算委員会に登壇

令和8年度千葉県予算において、習志野市民の安全安心な暮らし、市政発展への貢献に向けた視点でも予算審議に臨みました。私のホームページから録画中継を観ることが出来ます。

伊藤ひろしプロフィール: (経歴) 1975年10月生まれ(50歳) / 東海大学付属望洋高校卒(野球部) / 東海大学政治経済学部卒 / 習志野市議会議員(3期) / 千葉県議会議員(2期) (現職) 文教常任委員会委員長 / 水道事業運営審議会委員 (資格) 中学・高校教員免許、防災士

引き続き、「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。 伊藤 寛